

2015年3月吉日

各位

全国的青年連絡組織
会長 小崎 好美

全国的青年連絡組織 第6回通常総会ならびに臨時総会のご報告

去る2016年1月、広島にて全国的青年連絡組織「第6回通常総会」を開催いたしました。総会では、事業報告、事業計画、予算（案）について審議し、規約改正ならびに諸規定の整備についても議論いたしました。規約改正の一部と諸規定の整備については継続審議となり、2月末に臨時総会を開催することとなりました。

2月に開催した臨時総会では、改めて規約改正と諸規定の整備について審議しました。また、青年会員の意見をまとめた「青年声明」についても議論しましたのでご報告させていただきます。

全国的青年連絡組織では、日本ユネスコ協会連盟の構成団体会員という位置づけの元、これまでも日本ユネスコ協会連盟の構成団体会員所属の青年のネットワーク構築と、日本ユネスコ協会連盟への評議員候補の推挙を行ってまいりました。しかしながら、依然として本会に対する認知度は低く、連絡組織としての役割を十分に果たせずしております。本会としても、次年度はネットワーク強化に注力してまいり所存です。会員に対する知名度を高める努力をするとともに、一人でも多くの青年会員とつながり、情報伝達ルートを整備していきます。

引き続き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

青年声明（案）

臨時総会で話し合われた「青年声明」は以下の通りです。

◆他団体や学校との連携

理念や活動領域がユネスコと近い団体やユネスコスクールが増える中、ユネスコ協会・クラブに所属する私たちの活動や理念をより広く世の中に発信し、さらなる活性化につなげるためには、他団体や学校との連携の推進が欠かせません。青年自身も他団体の活動に関わったり、他団体との交流事業に積極的に参加していく必要があります。一方で、青年だけで学校に直接アクセスすることが難しいこともあります。地域ユネスコ協会・クラブの皆さまのご協力をお願いします。協会連盟としても、協会・クラブと学校との連携の成功例を共有する等、企業を含む関係団体や学校との連携を促進していただきますようお願いいたします。

◆各ブロックユネスコ活動研究会について

例年日程がブロック毎に異なるため、ブロックを越えて青年が参加する活動を計画する上で、開催日程の選択肢が少なくなっています。ブロック研究会の日程をある程度まとめて開催していただきたく思います。

また、ブロック研究会を青年活動にとっても活性化につながる機会とするため、青年のためのプログラムや青年主催企画を行えるよう、協会連盟および主管ユネスコ協会関係者の皆様にはご協力をお願いします。

◆青年活動のための予算について

青年活動ならびに民間ユネスコ運動の発展のためには、新しい青年会員を獲得する活動や、次世代の担い手を育成する活動等を中長期的視点から効果的に行っていく必要があります。青少年ユネスコ活動助成や青年ユネスコ研修補助制度等を一層活用していきたいと考えています。協会連盟には青年活動への戦略的予算配分を引き続きお願いします。

青年自身も魅力的な活動をつくることで外部資金の利用や他団体との連携を図り、支援に依存しない力をつけていきたいと考えていますが、そうした活動の基盤をつくることなど自助努力では対応が難しいところへの重点的な配分を期待したいと思います。特に、活動にかかる費用の中で交通費の占める割合は大きく、また外部からの支援をなかなか期待できない部分です。社会情勢にともなって地域格差・経済格差は広がっており、地域や経済状況によって活動が不利にならないような仕組みづくりは必要不可欠であると考えます。

学習の機会の創出にあたっては、民間ユネスコ内部や関係者に多数の有識者を有することを活かすべきです。組織の内外にこだわらない柔軟かつ多様な形で、より効果的な学習の機会の創出を望みます。

◆青年会員名簿の管理体制

全国的青年連絡組織は、ユネスコ協会・クラブが協会連盟に提出する現況報告をもとに、協会連盟事務局が正会員名簿（青年名簿）を作成し青年の数を把握しています。しかし、協会やクラブから提出される名簿には不備が多いのが現状で、本会の総会運営に支障が出ています。協会・クラブの事務局担当の方は正確な名簿の提出をお願いします。青年の立場からも、所属協会・クラブに対して正確な名簿提出をお願いしていきませんが、引き続き協会連盟としても地域ユネスコ協会・クラブに働きかけていただきますようお願いいたします。また、協会やクラブから正確な名簿が提出されているにもかかわらず、データが更新されていない事があり、協会連盟の名簿管理体制を改善していただきますようお願いいたします。

以上